

シアル別院時報

35巻 4月号

2016年度教化標語
まことの人生を歩もう



『春の法要、ご親教』

関谷沙羅師



春めいてまいりました。4月を佛教的に眺めますと、釈尊のお誕生日をお祝いする花まつり、親鸞聖人が日本佛教の始祖と讃えられた聖徳太子会など、行事の多い月であります。その華やかな行事の中でも際立つのが、春の法要と呼ばれる『立教開宗記念法要』ではないでしょうか。

親鸞聖人が『教行信証』を執筆され、浄土真宗のみ教えを伝えて下さったことを機縁とする法要で、寺院でも11の恒例法要の一つとなっています。京都のご本山ではこの法要にあわせて本願寺の特別公開をしています。「飛雲閣」[ひうんかく]、「鴻の間」[こうのま]のある書院や能舞台といった国宝や経蔵をこの数日間は拝観することができ、沢山の方々が麗らかな日和の中で参拝に来られる華やかな時です。（ちなみに私にとっては経蔵を拝観できた喜ばしい思い出とともに、一週間に渡る正座による体力限界の記憶もチラッとよみがえります…。）

この法要是親鸞聖人が『教行信証』によって浄土真宗のみ教えを確立されたことを感謝しよろこぶものですから、『御本典作法』『正信念仏偈作法』『共通勤行 和訳正信偈』といった『教行信証』を基にしたお勤めが並びます。中でも『和訳正信偈』は、聖人を宗祖と仰ぐ真宗十派による真宗教団連合が1973年に定めた共通の勤行で、十派が同じくこの時期にお勤めして心を共にしています。

そして春の法要では毎年、ご門主様がご法話を下さいます。私達が立教開宗記念法要で重ねて味わわせていただく聖人の浄土真宗のみ教えとはどのようなものであるのか、ここにご門主様、前門様のおことばを振り返り伺わせて頂きたいと思います。

「その教えの骨子は、阿弥陀如来のはたらきが、往相、お淨土に往く姿と、還相、お淨土からこの世に還ってくる姿となること。お淨土に往かせてくださるはたらきは、教(大無量寿経の教え)、行(南無阿弥陀仏)、信(他力の信心)、証(仏のさとり)として与えられることです。」前門様

4月の予定

- | | |
|------------|------------------|
| 3日 9時15分 | 甘茶サービス |
| 10時 | 花祭り灌仏会法要 |
| 10時45分 | 日本語法要 |
| 11時45分 | 花祭りランチ |
| 10日 10時 | 家族法要 |
| 10時45分 | 日本語法要 |
| 17日 10時 | アースデイ法要 |
| 10時45分 | 日本語法要 |
| 24日 10時 | 家族・子供法要 |
| 10時45分 | 日本語法要 |
| 29日 7時—9時 | 羽田信生師
英語セミナー |
| 30日 10時—4時 | 羽田信生師
日本語セミナー |
| 4日 10時半 | 敬老ホーム花祭り法要 |
| 7日 1時半 | 日系マナー法要 |
| 21日 1時半 | 日系マナー法要 |
| 26日 10時半 | 敬老ホーム法要 |

「たとえ煩惱によって真実を見る眼が覆われていたとしても、『念佛せよ。必ず救う』と絶えず喚[よ]びかけてくださっているのが阿弥陀さまです。」ご門主様

本年の春のご親教も皆で伺わせていただきましょう。ご門主様方のお言葉を何度も聞かせて頂き、この機縁にまたわき上がる慶びを、私達もご縁ある方々へと伝えてゆく機会とさせていただけたらと思う、春の日であります。 南無阿弥陀仏



会長の挨拶

別院理事会 会長 星野アラン

4月に入り雨の多い冬を過ごしたあと、晴れた日が続きますと気分もよくなってきます。先月末に春がついに到着し、サーモン・ディナーのファンドレイズの翌日にお彼岸をお祝いしました。ディナーの計画、調理、サーブとクリーンアップにご奉仕の皆様には大変感謝しています。維持会会員や別院の青少年たちだけでなくコミュニティーがお手伝いしました。仏教徒以外のカブスカウトのメンバーがテーブルの片付けを仏教徒カブと一緒に働く姿はうれしいものです。お寺のスカウトへのサポートが地域をよくして行くという例です。



先月の大雨の中私はカストロ、関谷両先生、副会長の寺田カルビンとバイセリア、加州で行われたBCAの全米会議に出席しました。そこではBCAのお寺の代表者や開教使と会合しました。今年の会議のハイライトは梅津総長



よりサクラメント別院の輪番ボブとパティー大下先生および輪番カストロへの長年のお勤めに感謝の言葉でした。3人の開教使の先生方は今年リタイアされます。また梅津総長は同時に6人の新しい先生方を紹介されました。

柴田カンデス、ワンドラムツミ、クオン・コーリー、浜坂マシュワー、それに関谷沙羅各先生でそれぞれの先生方はダーマソンでご法話されました。ビデオがCenter for Buddhist Education's YouTubeでそれが見られます。6番目の林なりやき先生は会議の6日まえに日本より着任されました。

開教使会の会長平野ジェリー師（ソルトレーク仏教会）の報告では50-60年に亘るダーマスクールへのフォーカスから長年にわたり放置された大人の教育とトレーニングに

フォーカスするということで、大学のクラスレベルのマテリアルの開発を目指すということです。

その他の注目は、BCAは13300人の会員を有し46人の開教使があり



ますが多分5年以内に17名がリタイアします。各個人のBCA会費は114ドルで去年は109ドルでした。BCAはダーナプログラムを開始し、浄土真宗センター建築の4億の責務をなくす試みです。皆様にもお願いの手紙が去年発送されました。寄付のなかからシアトル別院にいくらかがいくようにも出来ます。私にお尋ねください。



会で永代経法要の一部としてカストロ輪番が長年の開教使生活を振り返る話をされました。



BCAの新しい執行委員会が就任されました。リック・スタンブル（次期会長）シャーリン・レノルズ（副会長）スザン・ボタリ（書記）田中ケン（会長）松岡ジェフリー（会計）向井ギヤリー（副会長）

これが主なニュースです。春を楽しんでください。
ハッピー花まつり！

羽田信生師（毎田佛教センター所長）による日英語のセミナー

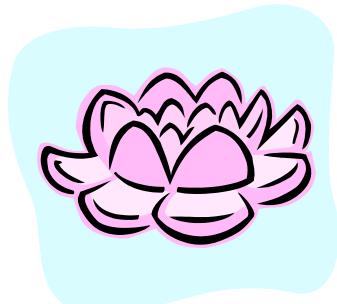
4月29日（金）7-9時 英語セミナー

4月30日（土）10-4時 日本語セミナー

5月1日（日）英語法要、日本語法要にてご法話

5月2日（月）10-2時 日本語セミナー

5月21日（土）桑原淨信師 日本語セミナー



婦人会便り

婦人会は九条武子夫人により20世紀に創設されました。武子夫人は関東大震災後に被災者の救済に献身され、慈善事業に務められ、スラム街での慰問中に風邪をひきそれが原因で敗血症で亡くなりました。婦人会はその意思を引き継ぎ仏教の志である慈悲と報恩にみちた活動を続けています。別院の婦人会は創立100年を越え、戦前、戦中、戦後の歴史は生命力と忍耐の証です。私達の婦人会にご参加下さい、そして新しい思い出を作るお手伝いをします。料理、クラフト、など一緒に楽しみましょう。おおくの会員は色々な特技を分かち合いたいと願っています。入会ご希望の方は事務所までお知らせください。

会員の方がサーモン・ディナーでは大活躍されました。漬物、饅頭（3日間と準備期間）、サラダ・ドレッシング、おはぎ（2日間）それに当日の各部の仕事などに係わりました。計画や準備など本当に血と汗と涙



のご奉仕でした、ありがとうございました。

今秋に予定されている全米仏教婦人会大会では皆様のご支援の一環としてブースターになって頂きたいと願っています。今大会は西北部主催ですので皆様のご寄付が大会の成功に重要な鍵となります。よろしくお願ひします。

4月24日は新入会員、入会式および歓迎ランチとなっております。
ご案内状が発送されますので皆様ぜひご出席ください。



予定

4月24日 新入会員、入会式および歓迎ランチ
5月15日 うどんファンドレイズ、ティケットが売り出されます。
10月7-9日 全米仏教婦人会大会、ベルビュー
2017年春には京都本願寺にて伝灯奉告法要が修行され、その法要に出席しその後九州、北陸のツアーに参加する旅行計画があります。
参加希望の方は和田まちこか富田加藤ナイナまでお知らせ下さい。



Rinban Castro, Rev. Sala and
BWA members at NW
convention, Ontario.

サーモン・ディナー

サーモン・ディナーは大盛況でした。多くの方が食事をされまたテイクアウトに来られました。ティケットも前売りが1500枚売れ、当日払いに来られた人も多くおられました。

当日はベーカーテーブルもパイや饅頭、ケーキなどがならびました。
多くのご奉仕の方々、ティケットを買って下さった方に感謝します。



ヤキマ仏教会すき焼ディナー　　後藤アイリーン

第55回を迎えたヤキマ仏教会のすき焼きディナーにボランティアとして私とゲール上西とでワパトヘ3月6日に出かけました。1700人のディナーをサーブした小さなお寺には各地から奉仕に駆けつけたひとでいっぱいです。遠くは香港、中国より、近くはエレンズバーグ、モーゼズレーク、シアトル、スポークーン、レークスティーブンス、ヘリテージ大学、デービス高校をはじめとする4校、一ヶ月以上に亘りティケットのセールから食事の用意まで計画・準備をしてきました。私たちは来場者にお内陣の説明をしました。来年も3月の第一日曜日になります、カレンダーをマークして下さい。

